^{令和元年度} おいらせ町 将棋教室 総評

講師 日本将棋連盟棋道指導員 高橋 正道

はじめに

にほん でんとうぶんか 日本の伝統文化である将棋は、全国で盛んに楽しまれています。

たいらせ町は『大山十五世名人の第二の故郷』と呼ばれている将棋の町です。

おいらせ町将棋まちづくり実行委員会が中心になり、成田隆町長をはじめ、

きょういくいいんかい がっこう おうしょうがん しょうぎれんめいあおもり しゃ ななど しどう きょうりょく え 教育委員会・学校・王将館・将棋連盟青森おいらせ支部等のご指導・ご協力を得て、

しょうぎきょうしつ ひら 将棋教室が開かれています。

おおやまめいじん みまも なか まな きょうしつ おうしょうかん どうじょう れいだんぼうかんび きょく そろ 大山名人の見守る中で学ぶ教室は「王将館の道場」です。冷暖房完備、棋具も揃い、

ためばい 先生はA・B・Cクラス担任がいて楽しく勉強できたと思います。

こともの時に覚えた将棋は、一生涯忘れる事のない宝物です。

◎今年も、プロ棋士を多数お招きして第34回おいらせ全国将棋祭りがイオンモールで 開催、メーン行事の子ども人間将棋では、みなさん大活躍でした。プロ棋士とペアを組み たいきなしゃ 対局者になって考えたり、駒役の子ども達は頭上に駒を掲げ、大きな盤上を駆け回り楽しい 思い出になったことでしょう。

みなくる館では、芝生の上で大判将棋かるた大会や将棋クイズに挑戦しました。

たの 楽しみにしているプロ棋士との指導対局はチャンスです。心がまえが大事で、

「絶対に勝つんだ」と、勝つ信念を持つことが大切です。そして、対局後にていねいな 解説をしていただいて、手筋を使いこなすコツを教わりました。

しょうぎ こころえ じょう わす ◎将棋の心得 5ヶ条は忘れない。

物を大切にする心、人には思いやる心を持って、物事はよく考えて行動できる人になるよう心掛けましょう。特に共通講座では、あいさつの大切さを教わりました。

将棋の3礼です。

①おねがいします。 ②養けました。 ③ありがとうございました。

みなさんはいつでも言えるようになれば有段も近いですよ。ガンバレ!

【内容】

共通講座 Aクラス ▲今年の目標…友達と仲良く、楽しく将棋を学ぼう ▲駒の性能(戦闘力)には、相違点と同時に共通点もある (1)将棋教室の心得 (1)真っ直ぐ進む駒の特徴…飛・金・銀・香・歩 ①姿勢は正しく、挨拶は大きな声ではっきりと ②健康第一、生活は規律正しく ①先手で正面からの王手を防ぐ ②正面から王手が掛ける ③将棋盤・駒などは大切に ④親・先生・教育委員会の人の言いつけは守ろう ③先手で敵飛車の攻めを止める ④遠くから真っ直ぐににらむ駒 ⑤いつも向上心を忘れずに、努力を積み重ねよう ※1 詰め将棋は将棋に大切な第一感を磨きます。『3~7手詰』 ※2 先生と指導対局・生徒同士の対局。『対戦相手の読みも念頭に考える』 ▲将棋教室の注意事項…大山将棋記念館はおいらせ町の貴重な宝物、大切に ①姿勢は正しく、まっすぐに座り背筋をのばす ②一礼して始め一礼して終わる ③対局中は静かによく考え指す習慣 ④将棋に集中よそ見や無断で立たない ⑤負けても悔しさを出さずに平静に振る舞う ⑥駒はマス目にキチンと並べ、大橋流の並べ方をおぼえる ▲駒の性能(戦闘力)には、相違点と同時に共通点もある ▲将棋の歴史と伝統を学ぶ ①世界のゲームの始まり…将棋はインドに起こり、日本に伝わり将棋になる (2)頭の丸い駒は桂と角 ②戦国武将の間で盛んになり、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康も将棋が好き ①頭の丸い駒の頭を攻める ②頭の丸い駒だけでは詰まない場合が多い ③花開く江戸時代の将棋…江戸幕府家康は、将棋家元制度をつくり、 (3)斜めの駒・角・金・銀 大橋宗桂初代名人が誕生した ①斜めからの攻めには斜めの駒で受ける ②角は遠くから斜めににらむ駒 ④現代の将棋…実力名人制度が確立された(名人戦) **※**1 **※**2 (遠見の角に好手あり) ▲『おいらせ町』は全国に知られた将棋の町です ▲駒の性能(戦闘力)には、相違点と同時に共通点もある ①子供将棋教室…平成13年に始まり、今年で18年になる (4)構に進む駒、飛車と金 ②大山将棋記念館の運営(王将館)…将棋の町、将棋の殿堂 ①飛車は盤上を広く使う駒 ②飛車で遠くから攻防。③飛車と金の協力は強力 ③全国将棋祭り実行委員会…将棋の町を全国に発信しています (5)バックできない駒 歩・桂・香 ①駒はすべて前進できますが、バックできない駒がある ②バックできない駒はつり上げて攻める **▲**×1 ×2 ▲将棋を習うと良いことがたくさんあります ▲駒の性能(戦闘力)には、相違点と同時に共通点もある ①自然に推理力・記憶力・応用力がつき、考える力がつく (6)足の遅い駒・金・銀・歩 ①遅い駒で飛び駒を追うな ②左脳と右脳を同時に使い、バランス感覚・直感力がつき集中力がつく (7)飛び駒・飛車・角・桂・香 ③礼儀や忍耐力が養われ、勝利感(達成感・満足感)や喜びを味わえる ①飛び駒を使い攻めのスピードアップ ②飛び駒に金銀等の『足の遅い駒』をうまく組み合わせ攻めるとスピードが増す ★1 ※2 駒の特性を知る格言は覚え困ったときに、必ず役に立ちます。 ▲将棋の上達法…現在の実力を出し切る、そこから上達が始まる ①将棋を楽しく、大好きになるのが大事です ①竜は敵陣に…竜は敵陣深くにいて、横から玉を攻める。将棋の駒は前に ②熱心に将棋を指す。③負けを気にせず、強い人と指す 進むようにできているから、タテの攻めに強いがヨコからの攻めに弱い ②馬は自陣に…馬を敵陣で使うのは難しい、自陣へ引いて敵陣を遠くにらむ ④定跡を勉強する。 ⑤詰め将棋を解く ⑥盤を隅から隅までよく見る 働きが強く、また守りにも大きな働きがある ⑦盤駒などの道具を大切にする **%**1 **%**2 ▲級位認定大会 ▲級位認定大会 Bクラス Cクラス ▲将棋は楽しいゲームです…だれにでもすぐおぼえられる ▲将棋をのびのび楽しもう (1)将棋の基本 ①将棋は日本の伝統文化 ①駒の正しい持ち方 ②駒の正しい並べ方 ②盤と駒で、二人で勝ち負けを競うゲーム ④将棋盤にマス目があり、符号で呼ぶことが大切 ③将棋は自分一人の力で考え、駒を動かす頭脳スポーツ ③[また[まは同じ ⑤駒の種類と呼び方 ⑥駒の利き、動けるところは決まっている ④将棋盤に駒を並べたら、8種類ある駒の動かし方(働き・利き)を覚えよう ※1自分で考えて指すのが将棋…詰め将棋は欠かせない(3~5手詰) ※1やさしい詰め将棋…(1~3手詰) ※2実戦で力をつけよう…指導将棋・生徒同士の対局 ※2指導対局・生徒同士の対局(考えて指してみよう) ▲将棋をのびのび楽しもう ▲将棋は楽しいゲームです…駒の動き方は4パターンです ①駒が進むことができます、駒によって決められている (2) 駒を上手に使うコツがある ① 駒はすべて前に進める ②駒の利き場所に気をつける ②駒は成ることができます、相手陣地にはいると成れる ③駒は取ったり取られたり ③相手の駒を取りながら進むことができ、駒は持ち駒になる ④取った持ち駒は、空いているマス目に打って使う ♠ ※1 ※2 ♠ ※1 ※2 ▲将棋をのびのび楽しもう ▲将棋は楽しいゲームです…礼儀を心得てカッコ良く指そう (3)駒の上手な使い方 ① 駒は大橋流で並べよう ②先手後手は振り駒で決める ③始めるときは『お願いします』 ④駒はマス目にキチンと並べて置く ①持ち駒は宝物、いつも駒台に目をくばる ②各駒の違いと駒の価値を知り、交換するときは駒の損得を知ることが大切 ⑤相手の駒を取る時には、駒台にのせてから自分の駒を動かす ③駒が成ると駒の働きが増す ⑥もし負けてしまったら『負けました。』と相手に伝える ④詰まされている状態について知っておこう ⑦最後に終わったら、駒は数えて駒箱にしまう **▲** ※1 ※2 X1 X2 ▲将棋をのびのび楽しもう ▲将棋は楽しいゲームです…棋譜を覚えると便利です。 (4)『玉』は一番重要な駒です 詰ませば勝ち、詰まされれば負けのゲーム ①盤のマス目には『符号』があり、駒の動きを『符号』で表す ①詰みと王手のちがい ②王手には合い駒で防ぐ ②駒の並べ方は(大橋流)で並べる ③王手には王手をかけている駒を取る ④王手には玉を逃げる ③駒の大切さ、順番がある(玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩の順) ⑤一手詰みについて ⑥三手詰みについて ④駒台は取った駒を置くところ(持ち駒) ♠ ※1 ※2 ⑤駒の交換すると駒損と駒得がある ⑥駒のタダ取りは大きな得点 X1 X2 将棋のルール…反則負けには注意しましょう ▲将棋をのびのび楽しもう。 (5)将棋にはルールがあり、反則は負けになる…(禁じ手) ①『二歩』但し、と金は良い ②『行き場のない駒』 ①『まった』指し直しはできない ②『二歩』は手をはなしたらダメ ③『打ち歩詰め』はダメだが、突き歩詰めは良い ③『打ち歩詰め』はダメで突き歩は良い ④『連続王手の千日手』同一局面が4回出現すると千日手 ④『行き所のない駒』これは歩と香と桂は注意 ⑤『二手指し』に注意 ⑥『駒の動き方を間違える』 ⑤『連続王手の千日手』 ⑥二手指しもいけない ⑦『助言』 ⑧『まった』…指し手の変更 ⑨『玉を取られる着手』盤面をよく見る **※**1 **※**2 ♠ ※1 ※2 ▲級位認定大会 ▲級位認定大会

第2期将棋教室

【内容】

【 内	容 】
共通講座	Aクラス
●将棋教室の礼儀作法	▲将棋の格言一絶対に覚えるベスト10 ◎角の道は百回確認して下さい
①将棋教室の心得…5つの心得はわすれない。	(1)自陣は「攻め」と「守り」に分ける
②感謝の気持ちを忘れない…町に、父母に、関係者に	①飛を主体に攻め、玉を要に守りに分ける
▲将棋教室での注意事項…王将館は町の宝物です	②玉と飛は近づけない ③守り駒を攻めに使うとキズになる
①早めの行動で遅刻しない ②自転車は自転車置き場に整列	(2)玉の囲いは「金銀3枚」で守る ①矢倉囲い、みの囲い、穴熊囲いなど
③記念館の備品・展示品・棋書などはていねいにあつかう	※1詰将棋…まず『3~5手詰』で詰みの形を覚える
④靴は泥を落としてはいる ⑤他人に迷惑をかけない	※2対局…勝ちを信じて先生と指導対局・生徒同士の対局
▲将棋上達の心得	●将棋の格言一絶対に覚えるベスト10 ◎駒がぶつかったら損得を考えタダ取り最高
①将棋は、がまんと忍耐のゲーム・すべて自己責任	(3)攻めの順番は、歩・銀・大駒・最後に桂
②「まった」をしない、三手の読みが基本	①桂が最後 ②歩と銀で飛車・角を生かすのが大切
③「禁じ手」「反則手」を指したときは負けを認める	(4)馬は自陣で使え ①自陣に引くには勇気がいるが、手数をかける価値あり
④考える時間は適度に、早指しと長考の繰り返しは考えもの	②馬は強い駒です「馬の守りは金銀3枚」
⑤礼儀とマナーを守る	↑ %1 %2
▲大山記念館(王将館)のお話	▲将棋の格言一絶対に覚えるベスト10 ◎戦法は少なくてもよい、深く研究すること
◇大山十五世名人…子供のころの生活のお話と晩年のお人柄	(5)敵陣の竜は、無駄に動くベカラズ ①竜の利きは長く寄ったりウロチョロはムダ
①記憶力が優れ直感力の天分に恵まれてる ②人を助け人に助けてもらう	②角のラインに注意 ③一間竜の形を作ろう
③心が折れたり、屈したりしないでガマン強い	(6)飛車の「2枚換え」は御用心
④他人を思いやる気持ちが強い ⑤考えることが大好きだ	①よく状況を見極めて、2枚換えをすることが大事
⑥頭脳明晰、経済観念があり時間を無駄にしない	②級位者にとって飛車の価値は高い
⑦体が丈夫で特に心臓が丈夫、肺活量が大きく長い戦いにたえられた	↑ ×1 ×2
●将棋カルタの遊び方	■将棋の格言一身に付くまで何度でも自分で実行ベスト10 ②盤と駒を使う勉強大切
(1)駒遊びとカルタについて …ハサミ将棋・回り将棋・動物将棋・将棋かるた	(7)「王手」より「詰めろ」 ①「詰めろ」とは「次に詰みます」という状況
(2)将棋カルタ…将棋に関する知識が得られる	②「王手は追う手」で「詰めろ」をかけたほうがよい
①将棋カルタで遊びながら、格言・手筋が覚えられる	(8)「一歩千金」 ①歩は貴重という意味 ②歩がないと大変困る
②将棋カルタで遊びながら、礼儀・作法が身に付く ③歴史が学べる	▲ ※1 ※2
●第34回全国将棋祭りについて	■ 将棋の格言ベスト10 ◎攻めと守り、駒得と駒損、バランスが大切
(1)おいらせ町将棋まちづくり実行委員会	(9)「と金」を作ろう ①歩が大切「と金」づくりにはげむ②と金の遅早③取られても歩
(2)子ども人間将棋 (3)女子プロ倉敷藤花戦おいらせ対局	(10)「底歩」は堅い守り
(4)第30回大山名人杯争奪将棋大会	①金底の歩は岩より堅し ②先を考えて、事前に切っておく(歩を)
(5)大判カルタ大会 、将棋クイズ (6)プロ棋士による指導対局 その他	▲ *1 *2
●級位認定大会	●級位認定大会
Bクラス	Cクラス
Bクラス ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である	Cクラス ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である	▲将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える	■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である(1) 詰の形を覚える①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる	■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である(1)詰の形を覚える①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる②頭金のいろいろを覚えよう	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 	 ■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ■王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ■※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 	 ■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ■王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ■※1詰将棋で実力アップ…『1手詰』~『3手詰』 ■※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・番・柱・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である 	 ■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ■王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ■※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・一手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ① 王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ① 王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ① 王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1 詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1 詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ●詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ーー・ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ① 王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④ 王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ② 詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がしまますを見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がしますとないのである ● 20 に解がしますとせるを見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解することが一番大切 ● 20 に解することが一番大切 ● 20 に解することが一番をおぼえる ● 20 に解することが一番とないのである ● 20 に解析しまするに対しますることが一番を見まれることがしまする。 ● 20 に解析しまする。 ● 20 に解析しまするにおいる。 ● 20 に解析しまする。 ● 20 に解析しまする。	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ーチェとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー・・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・・・・・・・・・・・・・・・
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ① 王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④ 王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ② 詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がしまますを見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解がしますとないのである ● 20 に解がしますとせるを見て形を覚えることが一番大切 ● 20 に解することが一番大切 ● 20 に解することが一番大切 ● 20 に解することが一番をおぼえる ● 20 に解することが一番とないのである ● 20 に解析しまするに対しますることが一番を見まれることがしまする。 ● 20 に解析しまする。 ● 20 に解析しまするにおいる。 ● 20 に解析しまする。 ● 20 に解析しまする。	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・ーー・・・ (2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『柱頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー 手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・一手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打つて詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『柱頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2 ●駒別に動きたと働きをおぼえよう・・・強くなる将棋
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3)繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー 手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには③持ち駒を打つて詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『柱頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・・王将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない (1) 王手連続で攻める(2) 相手は、あまり駒全部が持ち駒(3) 攻める方は最短手順	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー 手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●王様を詰ますには ③持ち駒を打つて詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2 ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・王将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要(6)角行(竜馬)・・・ナナメならどこまでも、動ける範囲が広い大駒
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1) 詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2) 詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3) 繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ●※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない (1) 王手連続で攻める(2) 相手は、あまり駒全部が持ち駒(3) 攻める方は最短手順 (4) 玉方は最長手順で指す(5) ムダな合駒しない(6) 持ち駒の余りに注意 	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ーチェとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●工様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』 ●王様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・・王将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要(6)角行(竜馬)・・・・ナナンならどこまでも、動ける範囲が広い大駒序盤では相手陣にニラミを利かすことが大切、攻撃得意、角で王手飛車をかける
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3)繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない (1)王手連続で攻める(2)相手は、あまり駒全部が持ち駒(3)攻める方は最短手順 (4)玉方は最長手順で指す(5)ムダな合駒しない(6)持ち駒の余りに注意	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3)繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない (1)王手連続で攻める(2)相手は、あまり駒全部が持ち駒(3)攻める方は最短手順(4)玉方は最長手順で指す(5)ムダな合駒しない(6)持ち駒の余りに注意 ■※1 ※2	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・とくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える(⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・柱・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●工様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実力アップ・・・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・ー 手ごとにマス目一つしか進めないとくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●工様を詰ますには③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成柱)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・一一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』●工様を詰ますには④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・・ 王将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要(6)角行(竜馬)・・・ナナメならどこまでも、動ける範囲が広い大駒序盤では相手陣に二ラミを利かすことが大切、攻撃得意、角で王手飛車をかける●王様を詰ますには「⑤動かす駒はどちらにしたらよいか考える ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(7)飛車(竜王)・・・縦横無尽に走り回る攻撃隊長
■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・柱・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ■※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ■※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3)繰り返し何度でも練習しよう ①繰り返すことで、駒の利きをおぼえる ②詰将棋を解く、正解がわからないときは答を見て形を覚えることが一番大切 ③基本形を覚えれば、実力アップし勝利に近づく ■※1 ※2 ■詰将棋のルール ●詰みとは ①王手がかかっている ②王手の駒がとれない ③合駒が利かない ④玉の逃げ場がない (1)王手連続で攻める(2)相手は、あまり駒全部が持ち駒(3)攻める方は最短手順(4)玉方は最長手順で指す(5)ムダな合駒しない(6)持ち駒の余りに注意 ■※1 ※2 ■詰将棋の棋譜と盤面符号は覚える ①マス目はタテの列は1,2,3…9の算用数字 ヨコの列はー、二、三の漢数字 ②先手は▲、後手は△で表す =▲3二金などと書く	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●工様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・兄金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実カアップ・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・とくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●工様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』 ●工様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・・エ将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要(6)角行(竜馬)・・・ナナメならどこまでも、動ける範囲が広い大駒 序盤では相手陣に二ラミを利かすことが大切、攻撃得意、角で王手飛車をかける●工様を詰ますには ⑤動かす駒はどちらにしたらよいか考える ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(7)飛車(竜王)・・縦横無尽に走り回る攻撃隊長とくに、タテとヨコにどこまでも進めるので十字飛車を知っておこう
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。一これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋・・詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局・・・各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ■※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (3)繰り返し何度でも練習しよう	 ■将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ■王様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・尻金・ナナメ金の形を覚えよう ■※1詰将棋で実力アップ・『1手詰』~『3手詰』 ■※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ■駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (1)詰の形を覚える ①頭金で詰ます。←これがわかれば勝ち方がわかる ②頭金のいろいろを覚えよう ③歩・香・桂・銀・角・飛は成ると金と同じ働きをする ●※1詰将棋…詰みのパターンを覚える。『1~5手詰』 ●※2対局…各駒の利きを確認する。先生と指導対局・生徒同士の対局 ●詰将棋の「詰み」は「勝ち」である (2)詰の形を作る準備が必要です ①王手をずっと続けると、玉が逃げられることがある ②「王手」は「追う手」の格言がある ③いきなりの王手よりも、次に詰ます手が良く「詰む」 ④王手をかける前に逃げ場所を押える ⑤上部を押えハサミ打ちにすれば最良 ●※1 ※2 ■詰将棋の「詰み」は「勝ち」である	 ●将棋の指し方を覚えましょう ①本将棋は、40枚の駒を決まった位置に並べて始まる②8種類の駒は玉・飛・角・金・銀・桂・香・歩 ③駒は相手の陣地に入ると成れる④駒の並べ方や動き方、成り駒の動きは自然と覚える ●工様を詰ますと、勝ちで楽しい ①金で詰めるのが基本、全ての駒が成ると金の働き②上から頭金・腹金・兄金・ナナメ金の形を覚えよう ●※1詰将棋で実カアップ・『1手詰』~『3手詰』 ●※2先生と指導対局で教わろう・生徒同士の対局で力をつけよう ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(1)歩(と金)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・とくに、数で勝負や大事な戦いの場面で大切なはたらきをすることが多い(2)香車(成香)・・・・直線一気の攻撃だ、いちど進んだらあともどりできない ●工様を詰ますには ③持ち駒を打って詰ます、駒を指して(動かして)詰ます ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(3)柱馬(成桂)・・・駒を飛び越せる駒 ⇒ 攻めのスピードが速く両取りをかける名手(4)銀将(成銀)・・・・得意はジグザグ攻撃、守りよりも攻めに力をはっきする・・・・一枚は守りに一枚は攻めに、『銀の割り打ちで両取り』『桂頭の銀で守る』 ●工様を詰ますには ④守り駒が動けない形を覚えればつませやすい ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(5)金将・・・・エ将をガッチリ守る守備の金⇒攻めては相手の玉を詰ますときに必要(6)角行(竜馬)・・・ナナメならどこまでも、動ける範囲が広い大駒 序盤では相手陣に二ラミを利かすことが大切、攻撃得意、角で王手飛車をかける●工様を詰ますには ⑤動かす駒はどちらにしたらよいか考える ●※1 ※2 ●駒別に動き方と働きをおぼえよう・・・強くなる将棋(7)飛車(竜王)・・縦横無尽に走り回る攻撃隊長とくに、タテとヨコにどこまでも進めるので十字飛車を知っておこう

【日程】 8/31 · 9/14 · 9/28 · 10/12 · 10/26 · 11/2

【内容】

共诵講座 Aクラス ▲ 楽しいのが将棋です…盤上に思い思いの夢を描くことができるのです ▲四間飛車に将棋戦法を学ぶ それを叶えてくれるのは、皆さんが駒の心を知っている人になること ①居飛車と振り飛車の戦いの基本…いろいろな振り飛車がある②四間飛車戦法 ●角道を止める、飛車を四筋に回る、玉は美濃囲いにする。 ①礼儀を重んじる ②健康第一規律を守る ③道具を大切にする ●美濃囲いの堅さは急戦でも持久戦でも通用⇒角交換は居飛車有利になる ④ひとの言うことに耳をかたむける。 ⑤夢をもち努力する ▲ ※1詰め将棋…受け方の手も考えることが大切 3~7手詰。 ▲ ※2実戦…先生の指導対局・生徒同士の対局 四間飛車に将棋戦法を学ぶ…角道を止め飛車を振る・美濃囲いに組む ▲将棋は伝統文化…戦国時代に将軍、大名、武将など指導者は将棋を指した (1)飛車先は必ず角で受ける、歩交換を避ける なぜか将棋を指すと、考える力がつき、礼儀正しい人になるからです ②8筋の守りは絶対です△8五歩には▲7七角と上がる ①織田信長は、大橋宗桂が桂をうまく使うことに関心し、宗桂と名乗ることを許す ②豊臣秀吉は野外で小姓・腰元を駒に見立て、人間将棋を行った ③玉側の端歩は必ず受ける△1四歩には▲1六歩と指す ③江戸時代に将棋家元制度誕生、初代名人に大橋宗桂、徳川吉宗は御城将棋を ⇒飛車先歩交換は3ツの得がある 実施し、すべての棋譜が残る(将棋の日11月17日) **▲** ※1 ※2 江戸時代の詰め将棋は、すばらしいものが多数 四間飛車に将棋戦法を学ぶ ①美濃囲いは駒の組み替えができる ▲将棋の礼儀作法 ①駒の並べ方は大橋流で並べよう ②振りゴマで先手後手を決める(歩5枚) ●美濃囲いは、片美濃囲い→本美濃囲い→高美濃囲い→銀冠と発展させる ③一礼『お願いします』し対局開始 ④指し手は駒をていねいにマス目にキチンと ②高美濃囲いは 43 六歩が先であり、銀冠のときは 43 八金は欠かせない一手 ⑤『待った』はできない、反則したら負け ⑥持駒は駒台にキチンと並べる ③飛車の柔軟な対応が大切です、これは相手に隙を与えない注意点です ⑦助言ムダ話はしない ⑧投了するときは『負けました』 ♠ ※1 ※2 ⑨双方ありがとうございましたと礼を言う ⑩感想戦 ⑪駒を数えて駒箱にしまう ▲小学生学年別将棋大会 ☜※時間に注意 ▲小学生学年別将棋大会 ▲将棋を学ぶと ▲ 四間飛車に将棋戦法を学ぶ ①社会生活に役立つ人になる…将棋の場合はいち早く駒に触れ、負かされ ①相手の対応を察知することが大切です .ながらも覚えていく、繰り返しと積み重ねる努力が実を結ぶ ②△5三銀右か左で急戦または持久戦になる ②学校の勉強に役立ちます…考える力、集中力、忍耐力が身に付き努力が報 ③ ○5三銀右は居飛車側の船囲いから急戦を仕掛ける合図、正しく対応する われ、礼儀作法が身に付き、友達ができ、楽しく学校生活が送れる にはがっちりと受ける順と反撃を目指す順がある 頭のスポーツとして学力成績アップにつながる **▲** ※1 ※2 ③大山将棋記念館で学ぶ楽しさ…①大山名人の偉大さに学ぶ ②日本一の将棋記念館をみんなで守り育てよう ③夢を持ち実現させる努力 ▲級位認定将棋大会(A・B・Cクラス別大会)電※時間に注意 ▲級位認定将棋大会 Bクラス Cクラス ▲初心者が覚える大切なこと ▲ 勝つための「考え方と指し方」(1)相手の駒を取る ①駒を取ると持ち駒となり、戦力アップになる ① 王手と詰みの違いを覚えよう ②開き王手と両王手の違いを覚えよう ②特に駒のタダ取りは得です、ウッカリして取られると損になる(角に注意) ③駒の取り合いでは、損と得ができる場合がある ③3手の読みと3手詰め ④しばりとは退路をふさぐこと ○同じ駒の取り合いは、損得なし、ちがう駒の取り合いは損得がでる ⑤打ち歩詰めと突き歩詰め (金と歩) ▲※1 楽しく詰将棋を考えよう 3手~5手詰 ▲ ※1楽しく詰将棋を考えよう 1手~3手 ▲※2 対局…先生と指導将棋・生徒同士の対局 ※2先生と指導対局・生徒同士の対局 ●将棋は1手でも早く相手玉を詰めた方が勝ちのゲームです ▲勝つための「考え方と指し方」(2)攻め破る ①手番は次に指す方がどっちか順番のこと。手番の得を生かす ①攻めは飛車を大将にして、敵陣突破する。駒損しないで、歩で切り込む。 ②持駒を上手に使うこと ③手損はしない…お手伝いの手は指さない ②攻める順番は小さい駒からするのが良い。小さい駒で大きな駒を取る ④無駄な手は指さない(1手パス)無駄な合い駒、無駄な攻め、無駄な受けは ③飛・角の大駒は、駒の利きが大きいので、離して指すのがよい 指さない ④数の攻めをねらう ⑤成れるうちに成る ⑥取れるものは取る ▲知っておきたいルール…千日手と持将棋 ▲勝つための「考え方と指し方」(3)自陣の守りと玉の囲い方 ①千日手は同じ局面が4回出現すると引き分けになる。 ①自陣の駒を攻めと守りに分ける、バランスの良いこと ②連続王手の千日手は、王手をかけているほうが負けになる。 ②玉を動かして囲いに入れる。…金銀3枚が基本 ③矢倉囲い、美濃囲い、舟囲いなどある ③入玉と相入玉の違い。 ④持将棋は点数大駒5点、小駒1点で計算する。プロは24点で持将棋となる 4 守りが完成し攻撃ができる **▲**※1 ※2 ×1 ×2 ▲小学生学年別将棋大会 ▲小学生学年別将棋大会 ▲将棋は詰まされたら負けのゲームです ▲勝つための「考え方と指し方」(4)敵玉を寄せて詰める ①『詰める』とは、王手をかけ、相手玉が逃げ場所がないこと ①玉の囲いについて、何故玉を囲うのか、囲い方のいろいろ ②矢倉囲いの特徴…居飛車戦法の囲いが多い ②『王手』とは、次に玉を取るぞと迫る手 ③美濃囲いの特徴…振り飛車戦法の囲い方 ③詰めるには味方の駒が、王手を掛ける駒と、その駒を守る駒が必要 ④囲いの悪い形…玉は一番大切な駒なので、攻めに強い形に囲うこと ④打ち歩詰めと突き歩詰めについて、反則について注意する **▲**×1 ×2 ▲級位認定将棋大会 ▲級位認定将棋大会

第4期将棋教室

【内容】

【 内 名	
共通講座	A/DJZ
■日本将棋連盟プロ棋士による将棋教室	▲ プロ棋士による将棋教室
中座 真 七段 お話しと指導対局	中座 真 七段 お話しと指導対局
▲将棋の心得と教室での注意事項 強くなる"3つのき"	▲将棋実戦での読み方…中盤の読み
①将棋が"好き"である…なにごとも好きになれば上手になる	①手順前後で大きな違い…指し手の順番を入れ替える
②"やる気"を起こす…好きに加えて、強くなろうとやる気が必要	②駒得をねらいながら、飛車を活躍させる
③"根気よく続ける"…好きでやる気があっても、実際にやり続ける	③よくない攻め…重い攻め、無理攻め、いっときの攻め、細い攻め
▲マナーとは将棋を大切にする心のことで、強くなる要素です	④味の良い手…良く読むことにより、より良い効果な手順がある
①大切にすると将棋に取り組む姿勢と相手に対する礼ができて、教わらなくとも	▲※1将棋に強くなる詰将棋5手~9手詰め
自然とそういう気持ちが現れて、「お願いします。」「ありがとう」が言える	▲※2先生の指導将棋・生徒同士の対局(棋力向上を目指し考えを盤面に)
▲将棋の豆知識	▲将棋実戦での読み方…中盤の読み
①将棋の元祖はインドのチャトランガ ②置き駒の左馬は縁起が良い	①浮き駒と囲いの弱点をねらい、バラバラの後手陣を攻める
③将棋の駒は五角形 ④駒台は昔はなかった	②大駒の活用からと金作り…堅陣を崩すにはと金です
	③後手の急所の駒に働きかける「寄せは俗手での格言・焦点の歩」
	④駒がぶつかったときが判断のとき良く読む ■※1 ※2
▲新春将棋·指し初め	▲ 新春将棋 指し初め
①紅白リレー将棋 ②詰め将棋大会 ③将棋かるた大会	①紅白リレー将棋 ②詰め将棋大会 ③将棋かるた大会
▲将棋の町「おいらせ町」は全国に知られています	▲将棋実戦での読み方…終盤の読み
①大山将棋記念館は王将館、岡山県倉敷市には名人館があり、友好関係がある	①寄せの原則…終盤こそ最も正確に読む ②手がかりをのこす
②町政・教育の関係者が街づくりを進め、おいらせ支部も普及・指導に協力	③玉は下段に落とす ④玉は包むように寄せる ⑤決める場所で駒を
③王将館・道場が将棋教室になって、学ぶ生徒は最高の環境	惜しまない ⑥食いついたら離さない ⑦詰ませるまで油断しない
④年間を通して、将棋祭り、大会、教室等が開催、地域を越えて愛好家が多数有	8普通の手で寄せる ⑨最後まで指す
	▲ ※1 ※2
▲級位認定大会 年間表彰 閉講式	▲級位認定大会・年間表彰・閉講式
Bクラス	Cクラス
●日本将棋連盟プロ棋士による将棋教室	■ プロ棋士による将棋教室
中座 真 七段 お話しと指導対局	中座 真 七段 お話しと指導対局
▲将棋一局には、棋譜の流れがある(上達に必要な、序・中・終盤戦の考え方)	■将棋がもっと強くなりたい…実戦のしかたを覚えよう
◇但し、序中終盤それぞれ、第何手目から中盤戦、終盤戦と明確にはない	①初手を指す…初手で指せる手は全部で30通り、角と桂は動けない
棋譜の流れの中で、それぞれ判断される	敵陣に早く進めよう、駒がたくさん動けるよう指し進めることが大切
(1)序盤戦はどんな作戦を取るか決める、攻めと守りのバランスが良い駒組みをする	②大駒の飛車・角が活躍しやすいよう、角みちを開ける(角が動きやすい)
①大切なことは相手よりも有利な駒組みをつくり、自分の戦い方を早めに決める	飛車先の歩を突く (飛が動きやすくなる)のがねらい
②一手遅れると大失敗することがある ③無理な攻撃はしない	③角頭を守る…相手が飛車先の歩を突いてきたら守りの金で守ることが大切
▲※1詰将棋『3手詰』~『5手詰』・・(かんたんな詰将棋を何度も繰り返す)	▲※1実戦に役に立つ、楽しい詰め将棋『1~3手詰』
▲※2先生と指導対局・生徒同士の対局…(相手を変えて、たくさんの友達と対局)	▲※2マナーを守り、楽しく実戦対局 先生と指導対局・生徒同士の対局
▲将棋一局には棋譜の流れがあります	■将棋がもっと強くなりたい…実戦のしかたを覚えよう
(2)中盤戦は相手の駒とぶつかるので、駒の損得を考えることが大切	④居飛車と振飛車…居飛車は飛を最初の場所から動かさないで指し進める
◇相手の弱いところをいち早く攻めて、自陣を有利な状態に進めることが大切	振飛車は飛を左ヨコへ動かすことを「振る」という
◇目的は3つで…①駒得をする…なるべく価値の高い駒を取る	⑤居飛車では角頭を守るのが大切、振飛車は角で相手の飛車先を守る
②駒損しない…駒を多く取られない ③敵陣をつき破る…数の攻めが効果的	⑥振飛車には飛の位置によって、向飛車・三間飛車・四間飛車・中飛車がある
※注意点…自陣を振り返り見て、駒を渡していいもの、絶対に渡したくない駒を	⑦攻め方の基本…大駒(飛・角)と小駒(歩・香・桂・銀)を上手につかうこと
見極める ▲※1 ※2	≜ ※1 ※2
●新春将棋・指し初め	■新春将棋・指し初め
①紅白リレー将棋 ②詰め将棋大会 ③将棋かるた大会	①紅白リレー将棋 ②詰め将棋大会 ③将棋かるた大会
●将棋一局には棋譜の流れがあります	▲将棋がもっと強くなりたい…実戦のしかたを覚えよう
(3)終盤戦は寄せ合い勝ちをめざし、大きな駒を見捨てても、一手でも早く詰ます	◎相手を攻める…小駒(歩・香・桂・銀)を使い、駒損にならないように、
①基本は王手をかけて詰ませること…確実に詰みがあるときっちりと読むこと	駒の交換では得をするねらいが大切
②自陣の安全余裕を確かめる…質駒の有無、敵に何の駒があれば危ないか確認	⑨前に覚えた歩の手筋『継歩』…相手の歩の前に歩を打つ
③将棋は『必死』をかけるゲームでもあるので、手筋を覚えよう	・『垂れ歩』…次に成れるマスに打つ歩のこと
④中盤からの準備が大切で、手がかりの駒を配置して置く	・『突き捨ての歩』…歩をすすめ取らせる歩
⑤詰まないときは早目に判断して、無理をしない断念する勇気が必要	・『タタキの歩』・・・歩以外の駒の前に打つ歩 などの手筋を使おう
≜ ※1 ※2	⑩大駒だけで攻めない…小駒といっしょに攻めると、大駒の強さをいかせる
I I	
	≜ ※1 ※2

A クラス

▲ 小笠原 一男 先生

「特棋教室に通う子どもたちは、特棋が好きで、将棋が強くなりたいと願っていると思う。では、どうすれば将棋が強くなるのだろうか。人によって色々な方法があると思うが、私は次のように考えている。

- しょうぎ ほん つぎ いって かんが しょうぎ ほん つき いって かんが よ ①自分の棋力に合った将棋の本を、次の一手を考えながら読む。
- つめしょうぎ まいにちか 2 詰将棋を毎日欠かさず解く。
- しょうぎ さ とき れいぎただ かんが さ しょうぎ どうぐ たいせつ あつか ③将棋を指す時は、礼儀正しくよく考えて指す。 ④将棋の道具を大切に扱う。
- るだん おってよく考えながら行動する。

わたし しょうぎ つよ にんげんてき 私はこれまで、将棋が強くなるにつれて、人間的にもすばらしく成長する子ども たちを多く見てきた。子どもの成長にとって、将棋はとてもよい心の栄養を与えて くれる。

ったし 私は、この将棋のすばらしさを、これからももっともっと広めていきたい。



Bクラス

▲ 高橋 正道 先生

将棋の駒の動かし方や王手と詰み、ルールを覚えて、一局指せるようになり ました。Bクラスでは、勝つための戦い方や詰め方、攻め方や守り方を身につける ※ 放送をしました。勝つためのポイントは次の5つです。

- せせいせい ひしゃ かく はたら くふう だいじ 1. 攻める…攻めなければ勝てない。飛車・角を働かせる工夫が大事です。
- 2. 駒を取る…駒の交換では、駒得をはかり、駒損はしない。
- まな。 かいかい かならなる しょう かんが さる あいまり でんが さる かんが さる かんが さる かんが なるべし。銀・桂・香はよく考えて指す。
- 。 4. 詰める…たくさん詰将棋の問題を練習するのが勝ちを呼ぶ。

じっせんたいきょく いちばん つめしょうぎ れんしゅう がんば Aクラスめざし、たくさんの実戦対局が一番です。詰将棋の練習も頑張ることです。



Cクラス

▲ 成田 幸男 先生

今回は、8名の友達をBクラスに送り出すことになりました。まずCクラスは基本を教わるところであり、おしえられた各分野において、おおむねマスターした人のみつぎたんかい、次の段階であるBクラスに進めるのです。その為には何をすればよいか。先生が話をしている時、他の事を考えたり、友達とジャレたりしないで、真剣に話を聞き、わからない時は質問をしたりして、自分が納得すること・うやむやにしないことが大事です。

きほん かくじつ じぶん やはり基本を確実に自分のものにし、1期でも早くBクラスにいける日を夢見て

ガンバロー!



令和元年度 将棋教室参加人数集計表

【第1期(全6回)】

参加人数	
1回目	36名
2回目	33名
3回目	37名
4回目	37名
5回目	36名
6回目	41名
延べ人数	220名

【第2期(全6回)】

参加人数	
1回目	34名
2回目	34名
3回目	38名
4回目	36名
5回目	34名
6回目	33名
延べ人数	209名

【第3期(全6回)】

参加人数	
1回目	37名
2回目	37名
3回目	41名
4回目	37名
5回目	31名
6回目	37名
延べ人数	220名

【第4期(全6回)】

参加人数	
1回目	26名
2回目	31名
3回目	32名
4回目	26名
5回目	29名
6回目	36名
延べ人数	180名







れいぎ ただ おお こえ ②礼儀は正しく、あいさつは大きな声ではっきりと。

けんこうだいいち せいかつ きりつただ

◎健康第一、生活は規律正しく。

しょうぎばん こま どうぐ たいせつ ②将棋盤・駒など、道具を大切にしよう。

おや せんせい きょういくいいんかい ひと い まも **②親・先生・教育委員会の人の言うことは守ろう**。

こうじょうしん わす どりょく つ かさ **②いつも、向上心を忘れずに、努力を積み重ねよう**。

令和2年3月 発行元 大山将棋記念館